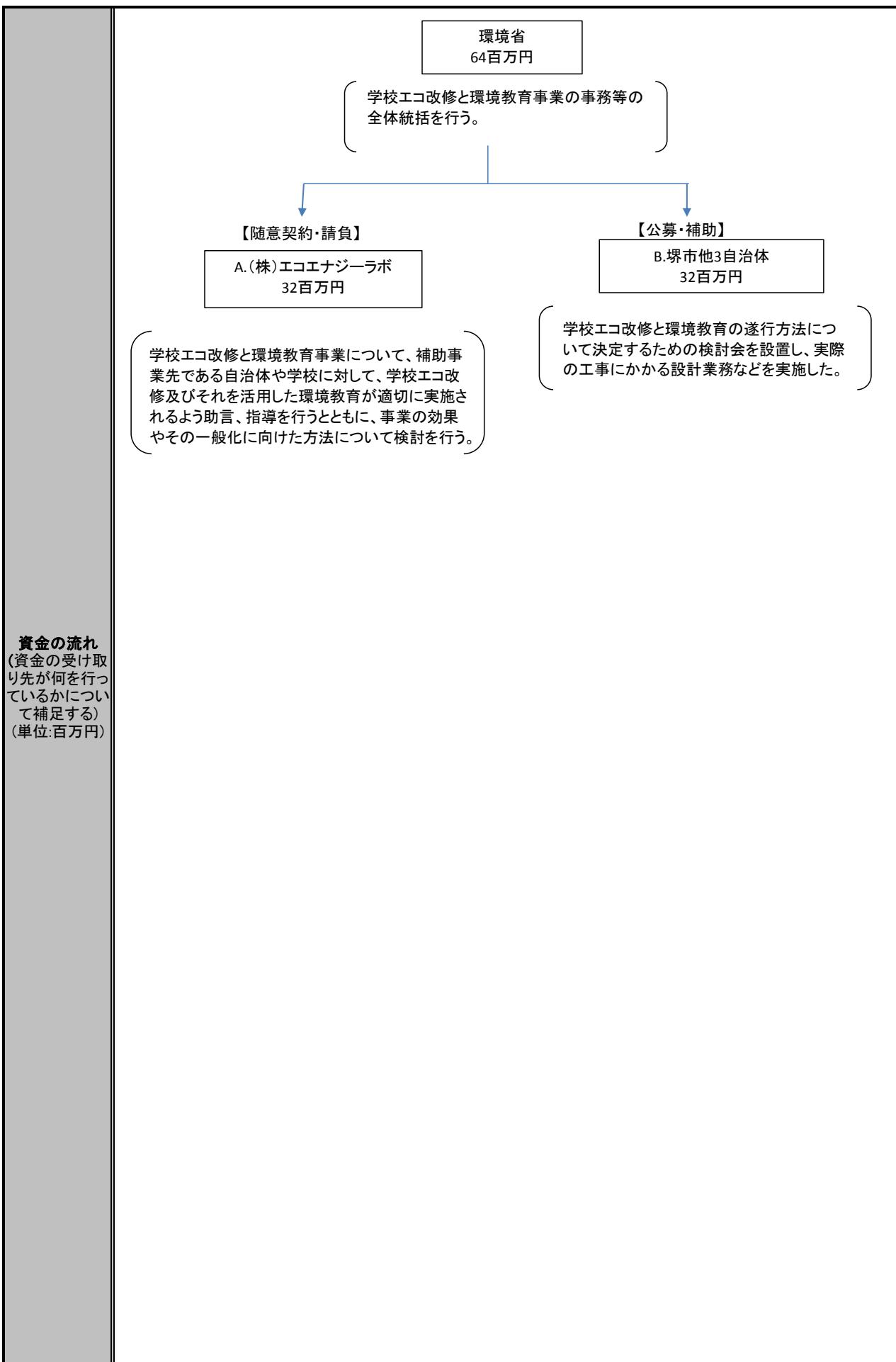


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	学校エコ改修と環境教育事業	事業開始年度	平成16年度	作成責任者		
担当部局庁	総合環境政策局	担当課室	環境経済課環境教育推進室	環境教育推進室長 岡本光之		
会計区分	一般会計、 エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)	上位政策	環境・経済・社会の統合的向上			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校は教育の場であるとともに、地域社会の核でもある。その学校施設のエコ化による二酸化炭素排出量削減と、これを題材として学校や地域での環境教育の普及及び環境建築技術者の育成等を図り、環境負荷の少ない地域づくり、環境保全意識の向上を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境への負荷が少なくなるように学校のエコ改修を行うことと、学校と地域が連携した環境教育とをセットで実施する事業を補助する。当事業は3カ年で実施することとし、地域社会を巻き込んで検討会を開催し、エコ改修、環境教育について地域で決定するなど環境教育効果が上がるよう実施する。また、エコ改修や環境教育が適切に実施されるよう助言や支援を行うとともに、事業の総合的評価・検証を行うためのサポート本部を設置する。					
実施状況	平成22年4月1日現在、寒地・暖地など気候区分の異なるモデル校として15校が完成しており、5校が実施中である。その効果として、平成17年度から3カ年で事業を実施した9校を検証すると、改修前と改修後でCO2排出量が最大で約45%、すべてのモデル校の平均で約25%削減した。また、完成校が実際に完成した施設を使って環境教育を行いやすくするためのマニュアルを作成した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	1,845	952	426	567	604
	執行額	1,238	919	64		
	執行率	67%	97%	15%		
	総事業費(執行ベース)	2,433	1,805	96		
支出先・使途の把握水準・状況	サポート本部を実施している請負先に対して、進捗状況の報告をもとめ、方針についての打合せを行い確認を行っている。また、補助先となる各自治体に対しては、事前及び事業の段階段階に、現地にてヒアリングを行い補助事業の具体的な進め方について確認している。また、サポート本部の業務を通じて、実施主体の学校や地域の方へのヒアリングやCO2排出量の削減効果などの報告を受け、確認を行っている。 補助事業の終了時には、補助先の各自治体から事業報告書等を提出させ、補助事業の実施結果が補助金の交付条件に合致しているか等の確認を行うなど、適切に把握を行っている。					
自己点検	見直しの余地	エコ改修された校舎を活用した環境教育のプログラム作成についてマニュアル化するなど、モデル校以外の学校への普及・拡大を図ることが課題である。				
化予算一監視の・所効見率	抜本的改善 (契約方式について、経費の支出内容の透明性が高い方法を検討すべき。)					
補記	交付予定であった自治体より辞退したい旨の連絡があり、これに伴い計上していた予算に大幅な不用が出たもの。					



費目・使途 （「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	A.(株)エコエナジーラボ			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	学校工コ改修と環境教育事業サ ポート本部業務	32			
	計		32	計		0
B.堺市			F.			
費目・使途 （「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	環境調査等補助業務	10			
	計		10	計		0
C.			G.			
費目・使途 （「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
D.			H.			
費目・使途 （「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0